

昭和50年～52年生まれの方へ

わが国では、昭和36年（1961年）以来ポリオワクチン（小児麻痺）の2回の内服接種が続けられ、この約25年間わが国でのポリオの発生はありません。しかし欧米先進国も含め世界では通常4回以上の接種がなされていきました。たった2回の接種で根絶してしまったのはわが国だけで、わが国の衛生状態の優秀さを誇るべきでしょうか。

ポリオには1型、2型、3型と3種類のウイルスがあります。昭和50年から52年生まれ（現在30歳から33歳）の人たちは、ポリオの1型の免疫率が約50%、つまり2人に1人程度に免疫抗体がないことがわかっています。その原因として当時のワクチンの改良説（安全性を高めた結果、多少付きが悪くなった）などありますが、当時の接種率が50～60%と極端に悪かったことも一因でしょう。

現在のポリオの流行は、インドとサハラ以南のアフリカ中央部を中心に中央アジアや中近東の一部に、さらに最近ではインドネシアでも発生して拡大傾向にあります。そして、そのほとんどは1型です。近年これらの国々との交流も盛んになり、免疫の不十分なこれらの世代の人が流行地へ出かけたり、逆にポリオに感染した人が入ってきたりして、感染の危険がますます高くなってきています。

日本では、ポリオを飲んだ子どもの便から感染して発症する成人が問題になっています。逆に成人は排便の管理ができますので、周囲に感染させる心配がありません。授乳中でも大丈夫です。

昭和50年から52年生まれ（30歳から33歳）の人たちは、できるだけ3回目の接種をうけるようにしてください。

昭和48-49年生まれでも、母子手帳で確認して、昭和51-53年に飲んでいたら対象者です。

当院の予防接種センターでも接種しています。

毎週火曜・木曜日の午後0：00－3：00の受け付けは、予約の必要はありませんので、祝日を除いて直接受診してください。

毎週月曜日の午前・午後、および水・金曜日の午前と第1土曜日の午前は予約のみです。必ず電話で予約ください。〔052-551-6126〕

母子手帳（予防接種記録）があればできるだけ持ってきてください。接種料金は、1回3,500円（内税）で任意接種となります。

1回しか、あるいは1回も接種していなかった方は6週間以上開けてさらにもう1回の追加接種を予定してください。

もし、接種に先立って抗体検査を希望される方は、接種の前に申し出てください。別途料金として2,400円（内税）がかかります。

近医でも検査できますが、1・2・3型ともNT法で検査してください。